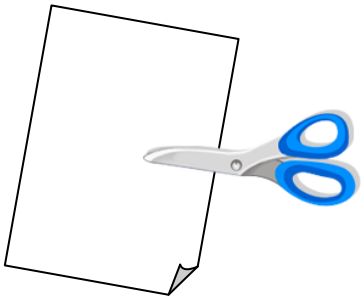
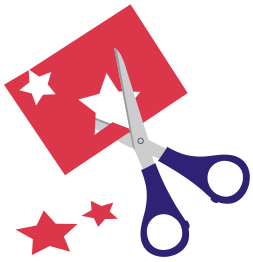
★紙工作の基本

※鋏の使い方✂



チョキンチョキンとはさみの先まで閉じて切らない。



鋏の先を閉じないままで、チョーキチョーキと切っていく。

はさみを持っている手を動かすのでなく、紙を持っている手を手前に動かして、紙を手前に動かして切る。

※糊の使い方

・水糊は、ＮＧ。糊は、乾く時に付くので、水糊だといつまでもぬるぬるして、くっつかない。ｽﾃｨｯｸ糊でもよいが、すみっこまでは、付きにくいので指を使う経験も是非させておきたいものです。

人差し指で、したくなるが、違う指を使う。

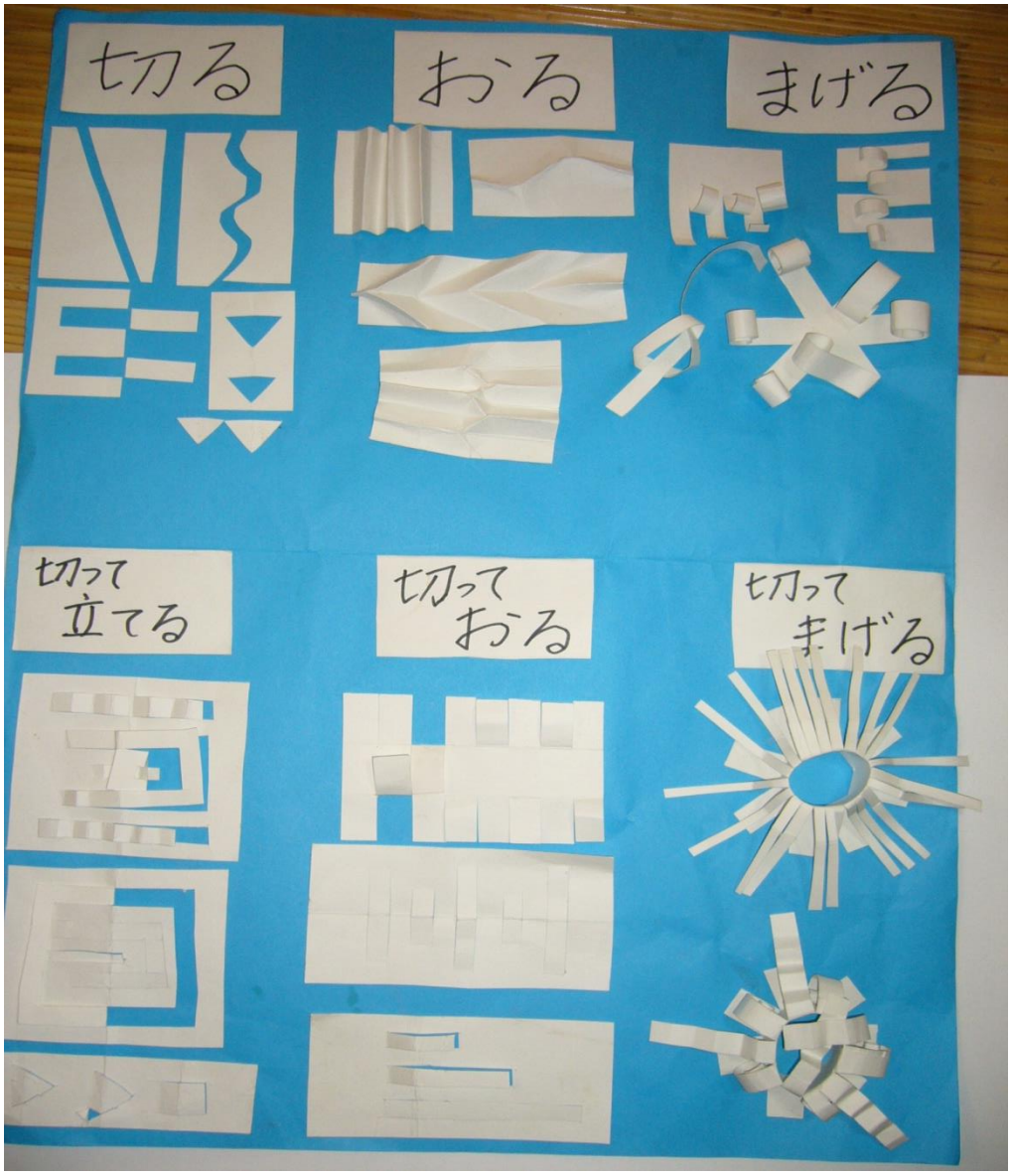
中指や薬指などを使う。

・　人差し指で糊を付けると、紙を持った時にどうしても付けたくない処に糊を付けることになるので、さけたい。

・　紙などを張り付けたとき、すみずみまで、上からよく抑えるように指導すると、丁寧に確実に付きます。

※　切った紙の残りの紙切れも捨てないで模様などに利用させる。その際、机にビニルの袋をとめておいて、小さいものは、全部入れて置かせると、床にごみがちらばらないし、再利用も可能になります。

＊紙の基本



※　切る・折る・曲げるの基本とそれらの組み合わせです。

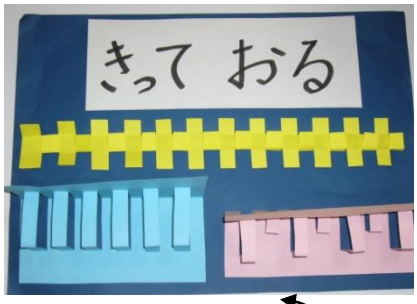
※　編む、きざむ、結ぶ、丸めるなどのバージョンもあります。

・折る時は、さしを当て、鋏で筋を入れると折りやすい。

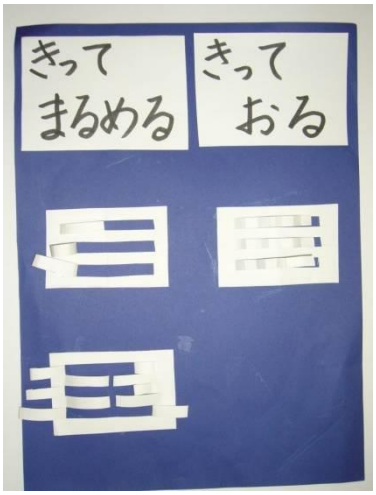
・上左は、はさみで。後は、カッターナイフで。

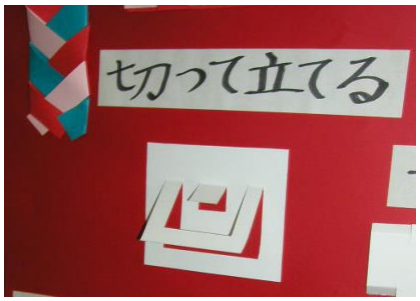
・まるめるときは、鉛筆などを使って、丸めるとよい。

・折り方も色々工夫して！



・カッターナイフが、必要。





・カッターナイフで

・はさみで。

・編む場合は、幅を正確にする
ことが、きれいにするこつ。
・色の組み合わせも楽しもう。

・子どもの好きな基本です。

・はさみで先に筋を入れる。
・切れ目を中心まで入れて、少しよせてつける。
・山折りと谷折りを交互に。

※基本の技を組み合わせ、工夫させると、楽しくふくらむ。

★　おしゃれな服の見本（教師が作りました。）

※　　五・六年生でするときは、体育館等で二人ひと組になり、薄めの段ボールに寝転んで、人型をとる。
（足先から、頭まで）
切りぬいた人型に紙の服を着せていくという実践もありかな　と考えます。
靴下やズボン、スカートなどバリエーションがあり、高学年向きだと思います。